

認定研修 達成度確認表

項目	研修目標（◎必須内容含む；▼推奨内容含む）	研修方法		達成度	
		講義・見学	実施	自己評価	指導者評価
1. 施設内でのHCTCの活動について					
1.1 HCTCの活動	◎ HCTCの定義を理解する。				
	◎ 移植施設の特徴を知り、施設内でのHCTCの役割を理解する。				
	◎ 活動スケジュールと業務内容の実際を理解する				
2. 移植患者の支援（全移植共通）					
2.1 移植前患者	◎ 患者の背景について情報収集を行い、移植前の意思決定の支援ができる。				
	◎ 移植準備の支援ができる。				
	◎ 患者担当医との連携ができる。				
	◎ 院内関連部署との連携/資源調整ができる。				
	▼ 院外機関との情報共有/連携ができる。				
	◎ 移植前の患者家族の支援ができる。				
2.2 入院中・退院後患者	入院中、退院後の患者支援ができる。				
	入院中、退院後の患者家族の支援ができる。				
	▼ 入院中、退院後の患者・家族支援に必要な院内関連部門との連携ができる。				
3. 血縁者間移植のコーディネート					
3.1 患者支援	◎ 血縁ドナー検索の手順を理解し、患者に説明できる。				
	◎ 血縁ドナー検索時の介入方法を理解し、患者に説明できる。				
	◎ ドナーコーディネートに必要な費用を理解し、患者に説明できる。				
	◎ 意思決定支援の方法を理解し、実際に支援ができる。				
3.2 血縁ドナーコーディネート	◎ 各コーディネート段階におけるドナーの意思決定支援ができる。				
	◎ 採取までの留意点を理解し、ドナーに説明できる。				
	◎ 採取～採取後の留意点を理解し、ドナーに説明できる。				
	◎ 各コーディネート段階におけるドナー家族の意思決定支援ができる。				
	◎ ドナーの適格性基準・採取に関連する過去の有害事象を理解し、必要に応じ、ドナー・家族に説明できる。				
	◎ 各コーディネート段階における日本造血細胞移植データセンターとの連携ができる。				
	◎ 遠方在住ドナー(候補者)への対応ができる。				
	◎ 患者担当医との連携ができる。				
	◎ ドナー担当医との連携を通じて、安全な採取の支援ができる。				
	◎ ドナーの採取を円滑に進めるため、院内関連部門との連携ができる。				
4. 非血縁者間移植のコーディネート					
4.1 骨髄バンク患者 コーディネート	◎ 骨髄バンクに登録を行う患者の支援ができる。				
	▼ 骨髄バンク移植調整部との連携ができる。				
	◎ 登録医/移植担当医との連携ができる。				
	◎ 院内関連部署との連携ができる。				
	▼ 採取施設との連携ができる。				
4.2 骨髄バンクドナー コーディネート	◎ 骨髄バンクにおける非血縁ドナーコーディネートの概要について理解する。				
	◎ 骨髄バンクコーディネーターとHCTCの役割の相違を理解し、施設内業務について連携できる。				
	▼ 骨髄バンク地区事務局の役割を理解し、非血縁ドナーの造血幹細胞提供に関わる施設内業務を支援できる。				
	◎ 院内関連部門との連携ができる。				
	▼ 非血縁ドナーの造血幹細胞採取を支援できる。				
	▼ ドナー担当医（採取責任医師）との連携を通じて、安全な採取の支援ができる。				
4.3 さい帯血移植 コーディネート	◎ さい帯血バンクを利用する患者の支援ができる。				
	▼ 各さい帯血バンクとの連携ができる。				
	◎ 患者担当医・院内関連部署との連携ができる。				
	▼ さい帯血の保存・管理方法を理解する。				
	5. チーム医療ほか				
5.1 院内関係者との協働 チームにおける役割	◎ 移植治療に関連する各部署や職種の役割を理解する				
	◎ チーム医療におけるHCTCの役割を理解し、各職種との調整業務ができる。				
6. 小児の移植（○：小児認定HCTCを目指す方は必須）					
6.1 小児の移植	◎ 小児の移植医療に特有な倫理的問題を理解する。				
	◎ 年齢・発達段階に応じた小児患者の支援について理解する。				
	◎ 年齢・発達段階に応じた小児患者の支援ができる。				
	◎ 小児患者・小児ドナー（同胞）の家族支援について理解する。				
	◎ 小児患者・小児ドナー（同胞）の家族支援ができる。				
	◎ 年齢・発達段階に応じた小児ドナー（同胞）支援について理解する。				
	◎ 年齢・発達段階に応じた小児ドナー（同胞）支援ができる。				
	◎ 小児を取り巻く環境の調整について理解する。				
	○ 小児を取り巻く環境の調整ができる。				

・研修方法：当てはまる項目に○を記入してください

・達成度：以下の基準を参照にA～Cを記入してください

達成度の評価基準

A：学習の理解や知識の応用が適切で、適時のアドバイスにより目標を達成した

B：学習の理解や知識の応用がやや不足しており、指導者のアドバイスや相談を受けながら目標を達成した

C：学習の理解や知識の応用が不十分で、指導者から多くの指示が必要だった。今後も継続した努力が必要である。

達成度総合評価（研修指導者評価）：【 】

署名 氏名（研修者）印 年 月 日

署名 氏名（研修指導者）印 年 月 日